

大水害からの復興 (地域の願いを込めて)

虎居区公民館

鹿児島県さつま町虎居地区は、一級河川川内川の中下流域に位置し、豊かな自然と川からの豊富な水の恵みが特徴で、さつま町の中心市街地の一部となっている地域です。

虎居区公民館は、15の公民会（さつま町の自治会組織）で構成される住民団体で、長年、地域の振興と人的交流を担ってきた団体です。

平成18年7月に川内川流域を襲った鹿児島県北部豪雨災害により自ら被災を受けながらも、住民への避難指示や避難誘導を行い減災に努めました。また、被災直後に全国から駆け付けた約2,000名のボランティアの方々を陣頭指揮し、復旧活動に大きく貢献しました。

同年10月に国土交通省において「川内川激甚災害対策特別緊急事業」が採択され、分水路及び築堤の整備が計画されました。虎居区公民館の方々も計画段階から大きく関わり、当該計画により本当に町が安全な地域になるのかを確認するため、行政や九州大学との連携のもと行われた1/20

0水理模型実験により安全性を確認しました。景観計画においても地域のシンボルである虎居城跡の石積みイメージした整備となるよう行政と一緒に景観計画を策定しました。さらに、川と住民との交流の場がもてるよう、河川内に遊歩道・広場の整備を計画するなど、河川改修計画に積極的に関わってきました。

河川整備後も災害の教訓を生かし、地域住民全員で避難訓練を実施したり、住民の避難を支援するためのハザードマップを作成しました。さらに堤防沿いには住民参加によるモミジやシバザクラ2000本を植えるなど、景観づくりにも取り組んでいます。平成23年からは、整備された河川を利用し復興ウォーキング大会や川祭りなども開催しています。

これらの一連の取り組みにより、今では市民が楽しみながら川への関心や防災意識を高めたり、地域の連携が強まってきました。



川内川下流から見た虎居地区



川づくり懇談会



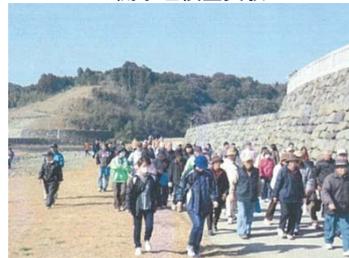
公開水理模型実験



虎居城の石垣をイメージした分水路



シバザクラの植樹



復興ウォーキング大会

- ◆所在地
鹿児島県薩摩郡さつま町屋地・西新町・虎居町・旭町・轟町地内
- ◆活動内容
防災避難訓練の実施、ハザードマップの作成
水質改善活動（家庭内廃油の回収、環境講話会の開催・毎年）
植樹（もみじ、シバザクラ）、ウォーキング大会、川祭り など
- ◆活動主体及び連絡先
虎居区公民館（0996-53-1272）
- ◆対象となる社会資本
一級河川川内川
※管理者：国土交通省川内川河川事務所（調査課：0996-22-3359）

